



平成 27 年度「生き生き信州新町 みんなでトーク」

昨年 11 月に開催された「生き生き信州新町みんなでトーク」は、アイデアや夢などの意見を参加者で出し合う、ワークショップ方式で開催されました。参加者は 6 グループに分かれ、「見る観光」・「食べる観光」・「楽しむ観光」をテーマとし、町の“こんな所が良い”“ここが自慢だ”と考えている事柄を付箋に書き出し、この中から話し合うテーマを決め意見交換していただきました。主な概要は次のとおりです。



各グループからの主な意見

《Aグループ》「楽しむ観光」について

- ・新町は、人口の割りに銀行や病院などの各種施設が揃っている。それを PR すれば定住の促進に繋がると思う。
- ・ろうかく湖ではカヌーや屋形船、花火を PR して誘客するべき。
- ・犀川沿いには牧野島城址や美術館もあることから、ウォーキングを兼ねた散策コースの整備をすれば観光に繋がると思う。
- ・農業関係では、ジンギスカン・梅園・柿・わさびなどを広く周知し誘客するべきだ。

《Bグループ》「食べる観光」について

- ・ジンギスカンが有名だから、サフォークの大量生産に併せ、加工部門の整備を図ることはできないか。
- ・穀物関係では、そば食い大会の開催やそば薄焼きを広めるのはどうか。
- ・ジビエの関係では、解体施設の建設と肉の解体職人の育成などの検討はどうか。
- ・梅、わさび、こんにゃく、栗、山菜などが豊富にあるが、高齢化が進んでいるため会社組織を造り「事業展開」できないか。

《Cグループ》「見る観光、食べる観光」について

- ・自然が豊富で、多くの作物が栽培できる。また、保育園から高校まで全て揃っている中山間地域はあまりない。子育て世代に PR しても十分に魅力のある町だと思う。
- ・「見ながら食べる」「食べながら楽しむ」には、グルメだけでなく、景観とリンクしないと観光地としては成立しない。魅力ある景観造りが大切である。
- ・若者には働く場所の確保が必要である。グルメに加えて、加工施設等を整備することで雇用環境の充実が図れる。



《Dグループ》「楽しむ観光」について

歴史や特産品、自然などをテーマに観光コースをつくり誘客するのはどうか。

- ・津和地域では、越道のアルプス展望台や萩野のそば祭りなどの観光コース。
- ・信級、左右地域では、石仏巡りやめん羊牧場、左右のそば、さぎり荘のジンギスカンなどの観光コース。
- ・牧郷地域は、マレットゴルフの交流大会や梅の収穫体験。犀川での魚釣りなど。
- ・ジンギスカン街道を有効利用して、新町地域の資源を見直すことが大切である。

《Eグループ》「楽しむ観光」について

- ・スポーツの分野としては、犀川での「カヌー体験」を PR するべきである。
 - ・美術館や化石館を中心に「文化・歴史」を大事にして町を盛り上げることが必要である。「四季に関する」展示会を開催するなど、テーマを設定し市民に周知するのはどうか。
 - ・こんにゃく、野菜、梅、豆類等の収穫を通じた「農業体験」を行いながら「観光交流」や活性化に結び付けられないか。
- その結果、若者の定着に結びつけていけたら良いと思う。

《Fグループ》「食べる観光」について

- ・犀川を利用した魚釣り大会を開催し、誘客を図る。
- ・町には山菜も豊富にある。個々の「なわばり」を捨てて皆で楽しむ山菜採りの実現。
- ・古くから日本酒の醸造蔵があり、おいしい酒がある。お酒をおいしく飲んでいただくイベントの検討。
- ・西山地域特有の穀物を使った料理はおいしいが、反面、若者に人気となるグルメ開発も必要だと思う。また、ジンギスカンも焼くだけではなく、色々な調理方法を考えてほしい。

●まとめ《観光協会長》

「農業についての課題」これが一つのキーワードと感じました。行政のサポートも必要である。これだけのすばらしい思いを持っている方々がいる。今まではお金をかけないと宣伝できなかつたが、お金をかけずに38万人の市民に情報伝達ができる。観光協会でも本日の意見を参考に検討させていただきたい。



●総括《黒田副市長》

今日は、「みんなで見つけよう、考えよう」という会議となり、これが大きな地域のまとまりに繋がることだと思う。

定住人口を多くするのか、交流人口として観光客に来てもらうのか。地域に魅力がないと住んでくれないし、人は来ない。地域に魅力があるところに観光客が来るということです。共に頑張りましょう。

～農畜産業に果敢に挑戦中！！～ こんにちは 地域おこし協力隊です。🐶

一昨年の6月に信州新町に移住して以来、早くも1年8か月が経ちました。お陰様で、昨年6月に自身のめん羊飼育施設を牧田中精進屋に立ち上げ、羊達の出産期を迎えた現在は、子羊の世話などで忙しくも充実した毎日を送っています。

これまでは単身赴任生活でしたが、この4月には東京から妻が合流し、夫婦での移住生活を開始することとなりました。春からの新生活が、今から楽しみです。

この地でいかに生きていくのか、初心を忘れずに、今後も日々を楽しみつつ模索していければと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。
(島田裕生)



信州新町での生活を始めて1年と8か月が過ぎました。

今私は「めん羊」と「葡萄」の生産を中心に農業経営を勉強しており、将来もこの地で農業をして生活していきたいと考えています。そのため今年には農家創設をし、めん羊の飼育舎や放牧地を整備していく予定です。葡萄については、地元農家の方の畑で栽培のノウハウを学んでいます。農家創設後、正式に農地をお借りし生産していきたいと思っています。

平成29年6月末の隊員任期後、すぐに農業で食べていけるとは思っていますが、ある程度の規模の生産基盤をこの任期中にできるだけ整備していきたいと考えています。これからもご指導よろしくお願ひいたします。
(小寺章洋)



贈答品、衣料品のお買い物なら

くらわんぱく
ファミリーショップ

サタ館 青上原屋

信州新町店 TEL 262-2035

元気に、さわやかに、信州新町の暮らしを支えます。

JAながの信州新町支所

電話 262-2300(代) FAX 262-3421

ルート19ドライブイン

名物 ジンギスカン料理 送迎無料

信州新町 信州不動温泉 さざり荘

http://www.sagirisou.com/ 264-2103

小林康宏さんが瑞宝双光章を受章

小林さんは、昭和21年11月に水内村職員に奉職して以来、昭和57年5月までの35年6か月間に亘り豊富な経験と卓抜なる識見をもって地方自治の発展に貢献されました。昭和50年4月に町民課長、昭和53年4月に経済課長、昭和56年4月に議会事務局長を歴任され、昭和57年6月から2期8年にわたり信州新町収入役を務められました。特に、昭和58年9月の台風による「58災害」や「犀峽高等学校移転改築問題」など、難題の解決に寝食を忘れ尽力されました。

小林さんは推薦基準にあたる、収入役の職に8年以上在籍したほか、信州新町職員として長年従事し、地域の発展と住民福祉の向上に大きく貢献されたことから、平成27年12月に叙勲の荣誉に浴されたものです。

心からお祝いを申し上げ、今後益々のご活躍をご期待申し上げます。



ニュース&お知らせ

●日赤社資にご協力頂き
ありがとうございます。

平成27年度日赤社資募集結果

総額	45,304円
内訳	
社資	1,357名
	810,300円
賛助金	35,004円
	148名

皆さんからお寄せいただいた日赤社資は、災害時の救援救護活動のほか、地区で実施する日常役立つ赤十字講習会（救急法・家庭看護等）や赤十字奉仕団の育成、ここに赤十字健康教室に使われています。

●「信州新町民泊受け入れの会」が発足しました。

信州新町民泊受け入れの会の設立総会が1月21日（木）に開催され、農家民泊の受け入れを本格的に行うことになりました。

信州新町の皆様にご理解をいただき、信州新町民泊受け入れの会へご加入いただきますようお願いいたします。



お問い合わせ先
信州新町地区住民自治協議会
事務局 262-4792

●参加者募集のお知らせ
長者山林業体験交流会

4月29日（金・祝日）に「長者山林業体験・ジンギスカン交流会」が開催されます。森林に親しみながら楽しい思い出をつくってみませんか。

お昼にはジンギスカンやジビエのバーベキュー、採れたての山菜による天ぷら等で山のめぐみを味わいながらの交流会も予定しています。

また「きのこの原木づくりと駒打ち」の体験もあり、駒打ちした「きのこの原木」は持ち帰ることができます。

参加申込期限 4月20日（水）
参加費

一般	1,500円
小中学生	500円
小学生未満	無料

お問い合わせ先
市支所産業振興担当
電話 262-2202



（冊数に限りがあります）

●平成28年度住自協カレンダーの販売について

「平成28年度住自協カレンダー」を4月1日号広報に併せて全戸配布します。信州新町の四季折々の美しい自然満載している「地域のカレンダー」です。ふるさとを離れて暮らす方への贈り物にいかがでしょうか。全戸配布とは別に1冊350円で販売します。お申し込み・お問い合わせ先 信州新町地区住民自治協議会 事務局 262-4792

八十二<インターネットバンキング>

カンタン! ペンリ!
おトク! 安心!

パソコン・スマートフォン・携帯電話から、24時間365日残高照会やお振込等ができます。

八十二銀行 新町支店
TEL.026-262-3182



トム・ソーヤの家

お食事・仕出し・お弁当等
お気軽にご相談ください

262-3071



冠婚葬祭
各種イベント
宅配弁当
etc...
ご相談ください

NPO法人
(特定非営利活動法人)

ふるさと

長野市信州新町新町31-2

3月の予定

3月のイベント				
5日	土		高校卒業式	篠ノ井高等学校犀峽校
7日	月	9:30	よってけ家・法話	福祉センター
10日	木	10:00	男性料理教室	福祉センター
11日	金	13:15	乳幼児検診	信州新町支所
15日	火		第11回いきいきふるさと塾・発表会	信州新町公民館
16日	水		小学校卒業式	信州新町小学校
			ゲートボール・冬季大会表彰式	さざり荘
17日	木		中学校卒業式	信州新町中学校
		10:00	子育て食堂	信州新町公民館
19日	土		化石のクリーニングに挑戦	信州新町博物館
22日	火	9:30	健康・食生活相談	信州新町公民館
		9:30	よってけ家・レクリエーション③	福祉センター
		13:30	介護予防学習会・転倒予防	
24日	木	13:30	わくわくチャレンジ科学教室（エキストラ）「ブーメランをつくろう」	信州新町子どもプラザ
26日	土		レプリカ教室	信州新町博物館
			卒園式	信州新町保育園

信州新町美術館・有島生馬記念館・化石博物館情報紹介コーナー

「500万年前信州新町は海の底だった！」

信州新町地域は、約500万年前に日本海につながる大きな湾であったことが、信州新町やその周辺から産出する貝の化石、クジラの化石などから伺えます。

信州新町地域は北部フォッサマグナ地域に位置し、中新世後期から鮮新世に堆積した小川層と柵層が見られ、柵層からはクジラや貝の化石が発見されています。

現在は海拔400m以上に位置している信州新町周辺も大昔は海の底でした。このことから、かなり隆起したことがわかります。

また、信州新町地域からも又田羅と蟻之尾からクジラの化石が産出しています。化石博物館に展示してあるクジラの標本は、又田羅より産出したもので、昭和13年11月の発見当時は15個の脊椎骨が見られ、これらの化石は7m75cmにわたって露出していました。しかし、浸食、破損が激しいので、信州新町教育委員会が昭和42年に採掘し、昭和54年に県の天然記念物に指定されました。



現在化石博物館では、「1500万年前の信州の化石—小池コレクション展—」が3月27日（日）まで開催されています。職員の小池伯一さんが収集しクリーニングしたセイウチやサメなどの選りすぐりの貴重な化石が約2百点展示されています。3月19日には展示解説もありますので、この機会に化石博物館に足を運ばれると、とても良い学習になると思います。

信州新町美術館長 瀧澤一彦

あなたのメンバーコース
We:GO ウィーゴカントリー倶楽部 ☎(026)290-3000

あなたの愛車の総合コンサルタント
新町自動車センター
262-2164

ジャンボタクシー・各種バスのご用命は
ひじり観光タクシー(株) 262-2353

年間を通じて信州新町の味が楽しめます。
道の駅 信州新町
TEL026-262-2228